

第2回分科会を開催しました！

- 「芸術のまち」を区内外の方々に周知する具体的な内容として、「芸術劇場と地域が連携した新規イベントの実施計画について」と「手形レリーフの今後の設置計画について」意見交換を行いました。下記のような主な意見があり、今後も具現化に向けて検討します。



Candle Art Night@芸術劇場

【芸術劇場と地域が連携した新規イベントの実施計画について】

- 芸術劇場を中心に既存のイベントとコラボしたものがいいのでは
- 地域のアーティストを紹介してイベント等に参加してもらう
- 地域の活性のために本町通りの商店との連携も必要では

【手形レリーフの今後の設置計画について】

- 地域資源である手形レリーフにもっと身近に触れられるように設置環境を整備してみたい
- 与野本町駅から来て手形レリーフが、どこに・誰の手形があるかわかるような案内やPRを行うことが必要では



手形レリーフ

まちづくりに一緒に取り組みませんか？

◇与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会とは

- 平成27年11月、与野本町駅周辺の将来像を示す「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン」がさいたま市により策定されました。
- このプランで位置付けられた6つのリーディングプロジェクト(LP)を実現していくため、私たちは平成28年11月に「与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会」を設立し、地域住民が主体となり、行政と協働しながら本格的なまちづくりの活動をしています。

※本協議会は行政と協働しながら地域主体のまちづくりに取り組んでおり、個人の要望や要求をする場ではありません。

◇与野本町駅周辺地区のまちづくりに一緒に取り組みませんか

- 協議会では、まちづくりの具体的な取組内容や実施に関する検討をしています。中央区内にお住まいの方やお勤めの方で、協議会の目的にご賛同、ご協力いただける方の入会をお待ちしています！！
- これまでの活動や取組について、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会のページ（市ホームページ内）

<http://www.city.saitama.jp/001/010/015/006/p051202.html>

与野本町 まちづくり推進協議会

検索

こちらのQRコードからも
ご覧いただけます



【問合せ先】 ※まちづくりニュースに関するご意見は、下記までお問い合わせ下さい。

さいたま市 都市局 まちづくり推進部 与野まちづくり事務所 管理係
住所：〒338-8686 さいたま市中央区下落合5-7-10（中央区役所4階）
電話：048-840-6153 ファックス：048-840-6155
メールアドレス：yono-machidukuri@city.saitama.lg.jp



与野本町駅周辺地区

まちづくりニュース 第7号

発行元 与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会【発行月：平成30年11月】

第7号のトピックス

＜中央区役所周辺をはじめとした3拠点の強化分科会＞

- ◆ 今年度の活動内容等について意見交換を行いました

▶ 表面

＜歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会＞

- ◆ 第2回分科会「本町通りのまちづくりに活かしてみたいヒントを考える」を開催しました
- ◆ まちづくり先進地区（日光街道市宿、中仙道蕨宿）視察会を実施しました

▶ 中面

▶ 中面

＜芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会＞

- ◆ 今年度の活動内容等について意見交換を行いました

▶ 裏面

＜ご案内＞

- ◆ みなさんもまちづくりに参加しませんか？

▶ 裏面

中央区役所周辺をはじめとした3拠点の強化分科会

〔与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン リーディングプロジェクト1〕

第1回分科会を開催しました！

- 今年度の活動内容等について意見交換を行い、活動候補として以下が挙げられました。

【活動候補】

- 複合化された公共施設の視察（市内外の事例の共有）
- 与野中央公園予定地の現地確認
- 与野本町駅周辺の現地確認
（駅利用者等のアンケート調査結果を踏まえた確認）



- 平成29年度の取組や平成30年度の主な取組状況等について市から情報提供がありました。また、公共施設再編の事例や与野本町駅周辺の現状、与野中央公園の基本計画の内容等について情報を共有しました。

【LP1に係る平成30年度の市の主な取組状況】

- 中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアル
⇒ 上位計画等を踏まえたゾーニング(考え方)の検討
- 与野本町駅周辺の利便性の向上
⇒ 与野本町駅西口駅前の再整備の検討
- 与野中央公園によるみどり拠点の強化
⇒ 公園整備に向けた検討



現状の駅前広場



「第2回分科会」の開催結果(意見交換会を実施)

沿道住民の暮らしからまちづくりのヒントを得るため、本町通り沿道に長く住まわれている「望月弘子さん」に本町通りの暮らしの歴史についてお話を伺いました。

開催概要

日時：平成30年7月9日(月)
18時00分～20時30分
場所：中央区役所

望月さんのお話し ～本町通りの暮らしの歴史について～

昔の本町通り沿道の家は、道路から引いた位置に家が建てられていました。

昭和10年代では、(月遅れの行事で4月に桃の節句、6月に端午の節句が行われていたので)3月、5月の24日と29日に四・九の市が開かれ、3月には雛人形、5月には鎧兜などが、また、暮れの市では、お正月用品、神棚、杵臼、羽子板などが売られていました。

塀が少なく、簡単な垣根くらいでしたので、子供たちが道路に出なくても隣近所の軒下を行ったり来たりして遊んでいました。家の庭にお稲荷様があり、初午の時には、子供たちが太鼓をたたき、食事やお菓子を持ち寄って、大勢の人が食事をするなど楽しく賑やかでしたよ。

現在も井戸が残るお宅がありますが、当時の生業は綿の織物など機屋が多かったです。藍染めの甕が家の中にあり、井戸を3つ4つお持ちのお宅もありました。昔から水が枯れるということはほとんどありませんでした。本町通りは昔と比べて、ほんとに商店が少なくなり、買い物客として歩いている人も少なくなりましたが、今でも裏通りで子供が遊んだり、夏祭り等のときはバーベキューをしたりとご近所のつながりは深いですね。



望月弘子さん

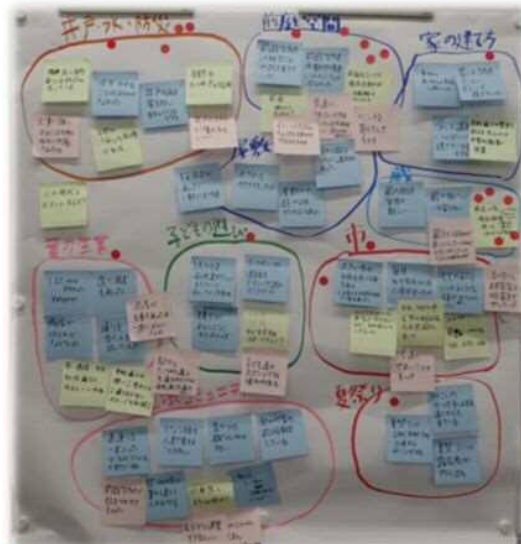
本町通りのまちづくりに生かしてみたいヒントを考える

望月さんのお話を踏まえて、まちづくりに生かそうなことや本町通りの課題等について意見交換会を行い、今後のまちづくりに生かしてみたいヒントとして取りまとめました。

<まちづくりに生かしてみたいヒント(意見概要)>

- 前庭空間を少しでも復活できるとよい。
- 蔵をどうするのか？本町通りの売りにするのかどうか？
- 与野は「水」の良いところであった。
- 井戸の周りに集えるといい。
- 毎月4と9がつく日に市(いち)を開いていた。
- 市(いち)を本町通りでもできないか。
- 狭い、歩きづらい、通りたくないイメージの払拭が必要。
- 地域内での連携(地域コミュニティ)ができるといい。

【意見の取りまとめ結果】



「まちづくり先進地区現地視察会」の開催結果

与野本町の歴史を生かしたまちづくりを検討するため、歴史景観を生かしたまちづくりを実践する日光御成道市宿(岩槻区)及び中仙道蔵宿(蕨市)への現地視察を実施しました。

開催概要

日時：平成30年8月27日(月)
13時00分～17時30分
場所：日光御成道市宿、中仙道蔵宿

日光御成道市宿に関する概要・感想



<まちづくりの概要>

- ◇日光御成街道の宿場町として発展
- ◇本町通りと同規模の計画幅員約16mの通りを整備
- ◇市民商店会の人々が中心となって「市宿通り道路整備協議会」を設立し、視察会や勉強会、意見交換会を重ね、平成12年に「まちづくり規範」を策定。建物の保存や色彩の調和など、地域の自主ルールを定めてまちづくりを実践。

<参加者の感想>

- ・街づくりは地元の熱心な取り組みが必要。
- ・街づくりと併せて賑わいの創造の仕掛けづくりが必要。
- ・景観と商店の活性化とは別なのだと感じた。
- ・歩道は広く、大きな車が通っても不安がなく良い。また、合意形成は多くの労力が必要であると感じた。

中仙道蔵宿に関する概要・感想



<まちづくりの概要>

- ◇中仙道で江戸から2番目の宿場町として発展
- ◇本町通りと同規模の幅員約9mの通りを有する
- ◇平成3年に地域住民を中心に中仙道蔵宿まちなみ協議会を発足し、平成6年に中仙道蔵宿まちなみ協定を締結。協議会が指定した景観建築物(歴史的景観である古い建築物)の修復、建築物の建築や外構の修景に対して対象経費を助成。

<参加者の感想>

- ・細かなところに工夫があるところ(排水路の模様など)が、歴史的なものを守るだけでなく、現代的なところもあり面白い。
- ・狭い道路幅員で、人と車のスペースのバランスをうまく割り振っていることに感心、狭い中にポイントで植栽、ベンチを設けている工夫も非常に効果的。

先進地区から学ぶ歴史を生かしたまちづくりのアイデア

歴史景観を生かしたまちづくりを実践する日光御成道市宿、中仙道蔵宿への現地視察を踏まえ、本町通りのまちづくりに生かしたいアイデアを出し合い、本町通りのまちづくりの将来イメージを膨らますきっかけとなりました。

<本町通りのまちづくりに実施してみたいアイデア(意見概要)>

- 蔵宿のように色分けされた道路区分が良い。
- まちなみ協定を設けて、統一感のある道路が良い。
- 統一感を出すための基準作りが大切だと思った。
- 子どもが自然に集まってくるような、施設なりお店(駄菓子屋等)やお年寄りの集まれる場所があると良い。
- 本町通りでも、市(いち)を開催してはどうか。
- 地域の中での横のつながり、多世代のつながりが生まれるようなきっかけ(ハード面だけでなくソフト面の充実)があると良い。
- まちづくりでは、若い世代も巻き込めると良い(アイデアの宝庫)。
- 道路の拡張無しでも本町通りはまだまだやれることはあると感じた。
- 側溝と歩道の一体化で広さを錯覚させる等、まずは動くことが大事。



今後の展開

今後の本町通りのまちづくりを検討する上で重要となるまちづくりの経緯や活動の内容・整備内容等を先進地区から学びました。今後は、与野本町の歴史を生かしたまちづくりの将来イメージを膨らませ、何をしたら良いのかを具体的に考えていきます。